



外国籍比率と日本語習得について



愛知県は全国で一番「日本語指導が必要な児童生徒」の人数が多く、県内の日本語教育適応学級へ加配教員が配置されています。豊田市独自の人的な配置もあり、各学校では先生方の粘り強い指導により、外国籍児童生徒の生活・適応指導や日本語指導・教科学習指導が行われています。

当法人は平成12年より保見団地内にある集会所で外国籍児童生徒の放課後学習支援「ゆめの木教室」を実施しています。

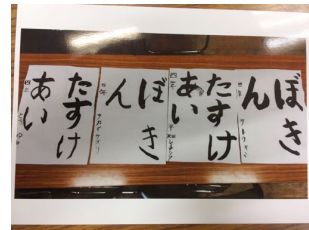
当初の保見ヶ丘外国籍比率は31.8%で西保見小学校、東保見小学校、保見中学校に通う児童生徒は2年ぐらいで日常会話を習得することが可能でした。

しかし、現在「ゆめの木教室」に通う児童生徒の多くは、来日から2年が経過しても、日本語での日常会話が難しい状況です。言語能力のうち、一番先に伸びる日本語会話が身に付かず、教科学習内容理解にも大きな影響を与え、基礎学習が定着しない児童生徒も多数見受けられます。低学力で高校に進学しても、結果的に中退してしまうケースが多く、職業の選択肢が狭められることが危惧されます。



外国籍児童生徒の日本語教育は、その主目的が学校教育を受けることです。その達成については日常会話には2年、教科学習で必要となる教科学習言語の習熟には5~10年の膨大な時間が必要であると言われています。

文部科学省は平成26年度の学校教育法を改正し、外国籍児童生徒の日本語指導を「特別の教育課程」に位置づけました。それに伴い、学校現場では一人ひとりの年齢・入国年齢・滞在年数・母語能力を考慮し、個別のカリキュラムを作成することが求められています。



当法人では保見地域の高すぎる外国籍児童生徒比率の課題について、話し合う場を設けていただけるよう、行政への働きかけを継続しています。



子どもの国 だより

2017年11月発行 Vol.37



- 放課後学習支援事業「ゆめの木教室」
小中学生：月曜日～金曜日 午後2時～6時
- 青少年の健全育成のための事業
問題を抱えた子どもとその家族に対し
随時相談・援助を行なう
- 青少年の自立支援事業「そら」
水曜日：午後6時30分～8時30分
- 交流会 年2回開催



通常総会

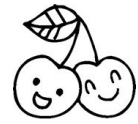


平成29年度の通常総会は
無事に終了しました。
その後、保護者との懇談会を開催しました。



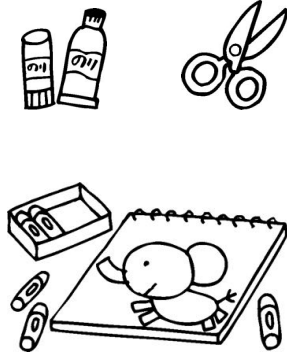


ゆめの木教室



「ゆめの木教室」ではスタッフ間で子どもの様子を共有するため、毎日メールで報告を行っています。
平成 29 年 10 月 ある日の「ゆめの木教室」報告

- 1年：10と5で口はすぐにできますが、15は10と口のような問題が難しいようです。
- 1年：字をもう少し丁寧に書けるといいです。音読は「かぞえうた」を読みました。
- 2年：10×56や10×100といった計算がまだ苦手なようです。
- 2年：かけ算の8の段と9の段を特訓しました。一応全部言うことができるようになりましたが、明日になると分かりません・・・
- 3年：3年生の文章読解をやりました。自分で読んで答えることはまだ難しいです。2年「かくれた数」はテープ図を見て解くことができます。
- 3年：2位数-1位数、余りのある基本のわり算の練習を頑張りました。リズムよく計算することができます。
- 4年：宿題とゆめの木教室の学習を全部終わらすことができました。台形、平行四辺形の性質をより理解することができました。
- 5年：「分ける」はわり算のヒントがないとできません。
- 5年：公約数を見つけるのに時々助けが必要です。
- 5年：「ゆめの木教室」の課題も一人で辞書をひきながら頑張ってやっています。
- 5年：3人とも漢字ノートの練習で読み仮名を書いていませんでした。学校の先生にも厳しくチェックしてもらえようお願いします。
- 6年：5時過ぎに来て、宿題と「ゆめの木漢検」を終わらせて帰りました。

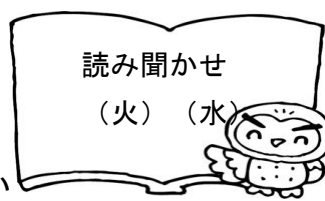


「ゆめの木教室」読書タイム

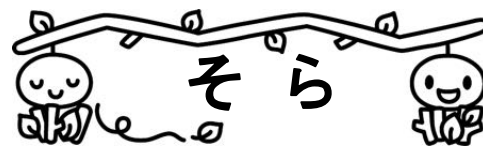
5時前に「ゆめの木教室」に来る児童生徒を勧めています。楽しい読書習慣を身に付け、日本語の読解力向上につなげたいと思います。

読み聞かせ

1年生や2年生で、ひとりではなかなか読書できない子どもには絵本の読み聞かせをしています



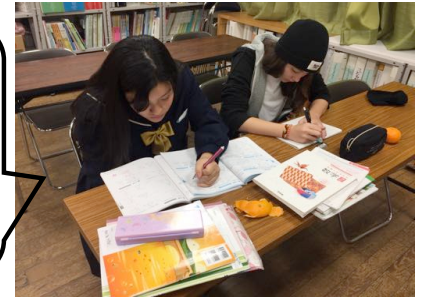
「ゆめの木教室」卒業生が遊びにきてくれました。



最近の「そら」では、中学生が一生懸命学習に取り組んでいます。



高校に入るために内申点とテストの点数をあげたいです。将来は美容師や保育士を目指しています。



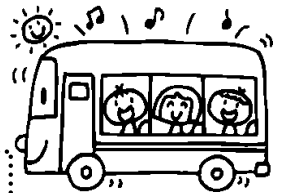
青少年もやりがいのある職業や今後の人生についてたくさん考えているようです。



最近、自分のやりたいことを仕事にしたいと思い、サッカー関係の通訳の仕事に興味を持っています。情報収集をしたり人脈を使ったりして、少しずつ前進しています。ポルトガル語の通訳だけではなく各国から来ている外国人選手の通訳もできるよう英語力も上げていきたいです。そのために、機会があればアメリカ短期留学も考えています。ブラジルの高校に通うことでポルトガル語力（特に読み書き）が上がったように生きた英語も学びたいと思っています。



猿投アドベンチャーフィールド



トヨタ自動車EX会のみなさまとバーベキューをしまし

10月21日(土) その日は朝から雨でしたが、予定通り大きな観光バスで保見団地まで迎えに来ていただき、NPO法人トルシーダのみなさまといっしょに猿投アドベンチャーフィールドへ向かいました。

現地についても雨は止みませんでした。でも、雨に濡れないよう事前に用意していただいたテントの下で、グループに分かれ、それぞれ木製の道具で火おこしにチャレンジしました。

その後、野菜を洗って切り、ブラジル料理のフェジョアーダと日本のお好み焼きをつくって、美味しくいただきました。



子どもたちははじめて火おこしに挑戦し、昔の人の苦勞をちょっぴり体験することができました。トヨタ自動車EX会のみなさま、トルシーダのみなさま、本当にありがとうございました。